

PFI(BTO方式)		岡崎げんき館整備事業《岡崎市(愛知県)》	
人口:約38万人			
<p>■概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、「保健衛生事業」「市民健康づくり支援事業」「子ども育成支援事業」「市民交流支援事業」の4事業から構成される複合施設を整備し、岡崎市の「元気と活力を創造する拠点」を形成した事業。 			
<p>■事業実施の経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市では、「健康」を自己実現するための手段と捉え、一人ひとりが健康観を大切に、生活の質を向上させることを目指し、「健康おかざき21計画」を策定した。同計画では、健康づくりは個人で取り組むもの以外にも家庭や地域、団体、行政が協働して取り組むべきであるとの考え方を示した。 ・本事業は、この考え方を実現するため、市民等が健康づくりのきっかけとして利用できるような「元気と活力を創造する拠点」を整備することを目的に実施された。 			
<p>■PPP/PFI手法導入のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市では平成14年度に「げんき館整備基本構想」を策定しており、この検討の中で整備手法の一つとしてPFIの可能性を調査した。なお、事業手法の検討に当たっては、基本構想策定前に策定していたPFI導入の手引きに則って検討している。 ・平成15年度にPFI導入可能性調査を実施した結果、民間ノウハウの活用により、財政支出の削減やサービス水準の向上が期待できることから、PFI手法を導入することとした。 			
《事業データ》			
施設規模	敷地面積:13,263.56㎡		延床面積:7,563.25㎡
	保健衛生機能	保健所事務室、健診スペース、X線撮影室 等	
	市民健康づくり支援機能	健康増進プール、トレーニングジム、フィットネススタジオ、飲食売店 等	
	子ども育成支援機能	プレイルーム、子ども相談室、利用者向け一時託児ルーム 等	
	市民交流支援機能	市民ギャラリー、情報ライブラリー、多目的室 等	
その他	屋外施設(健康広場、健康回廊、駐車場)		
事業方式	PFI(BTO方式)		
事業類型	混合型		
事業期間	平成18年6月～平成45年3月(26年9ヶ月) (設計建設:1年8ヶ月/維持管理・運営:25年1ヶ月)		
官民の役割分担	<p>【公共の業務】</p> <p>—</p> <p>【民間事業者の業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備業務(設計、建設、若宮庁舎改修、工事監理 等) ・維持管理業務(保守管理、警備、清掃) ・運営業務 <ul style="list-style-type: none"> ①保健衛生事業:処務・受付 ②市民健康づくり支援事業:受付、健康づくり支援、健康づくり指導、飲食・売店運営 ③子ども育成支援事業:受付、子育て支援、一時託児 ④市民交流支援事業:受付、情報ライブラリー運営 ⑤その他:使用料徴収代行、広報 等 		
	<p>〈業務分担のポイント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な運営業務として、官民協働で行う事業の効率化を常に探求し、市民サービスへの効果がうかがえるように運営業務の改善を継続的に図ることを要求水準で明示した。 ・運営に関しては、市やSPC、市の指定する市民活動団体等で構成する「岡崎げんき館運営協議会」において、市民意見の反映、市やSPC、市民活動団体等が行う事業の協議、事業等運営に関する意見交換等を行うものとしている。 		

事業費	約111億円(税抜、契約金額)			
VFM	特定事業選定時	7.7%	事業者選定時	40.7%
事業者 ◎は代表企業 ◆は地元企業	◎大成建設(株)、丸ヨ建設工業(株)◆、大成サービス(株)、シンコースポーツ(株)、(株)日本水泳振興会、学校法人安城学園◆、(株)タスク・フォース 【協力企業】(株)環境デザイン研究所			
応募グループ	3グループ			
スケジュール	平成14年度	基本構想の策定		
	平成16年9月	実施方針公表		
	平成16年12月	特定事業の選定		
	平成17年3月	募集要項の公表		
	平成17年12月	優先交渉権者の決定		
	平成20年3月	供用開始		
活用した制度等	-			
<p>■ PPP/PFI 手法導入の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業では、市が主催する健康教室や、民間事業者が収益事業として実施する提案教室が開催されており、フィットネスクラブ等の豊富な運営実績を有する民間ノウハウを活用し、幅広い年齢層を対象とした多様な教室プログラムが実施されている。 ・民間事業者は、自社施設でのトレンド等を踏まえつつ、四半期ごとに教室事業の利用状況等を評価・検証し、必要があれば速やかにプログラム内容の変更を行っている。また、四半期ごとに新聞広告を掲載するなど、民間ならではのスピード感、情報発信力が発揮されている。 ・多様なプログラムの提供や多様なイベントの開催等により、利用者数は毎年増加し続けて、当初想定(約15万人/年)を大きく上回る利用者数(約40万人/年)を達成している。また、施設利用登録者数も10万人(人口(約38万人)の1/4分)に達し、大きな集客効果を上げている。 ・本事業は、市、民間事業者、岡崎市医師会等の団体で構成される「岡崎げんき館市民会議」の3者で運営されており、同市民会議は、本施設で主催事業や共催事業を実施するなどの活動を行っている。また、本事業の運営には学校法人が参画しており、学生がスタッフとして子育て家庭の交流促進等に関わるなど、地域の交流が積極的に行われている。 <p>■ 地域経済の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺地域の活性化を図るため、地元商店街等と連携して年4回のげんきまつりを開催するなど、地域の賑わい創出に繋がる取組みが行われている。 				
				
(出所)岡崎げんき館公表資料				
<p>■ 参考URL</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(岡崎げんき館HP) http://www.okazakigenkikan.jp/seibijigyou/index.html 				